

平成30年度招魂祭

6月29日、剣淵町大通りにて、招魂祭音楽行進が行われ、その後、町民センター大集会室にて、平成30年度招魂祭式典が行われました。



▲町民センターに設置された戦没者祭壇



▲剣淵吟詠会による「鎮魂の詩吟」披露

この招魂祭は、毎年剣淵町と招魂祭奉賛会が行っており、祭壇前で、遺族や来賓者、一般参加者が戦没者に追悼の意を込め参拝しています。

式典前の音楽行進では、町内大通りを小中学校の児童生徒が楽器を演奏しながら行進しました。また、今年は剣淵町開基120年に合わせ9年ぶりに陸上自衛隊第二音楽隊（旭川駐屯地）も出演していただき、音楽行進に引き続き町民センターで演奏を披露していただきました。この演奏を通じ先人の方々への感謝の気持ちを表していました。

式典では、早坂町長が「英霊は肉親の方々にづらい別れを告げ勇躍し、戦陣に向かわれた。敬けんなる祈りのうちに本祭典を挙行し慰霊の誠を捧げる次第であります。」と祭詞を述べられ、北海道連合遺族会の伊東良孝理事長は「これまで先人が築いてきた平和と繁栄を次世代に継承していくことが私たちの使命であります。」と追悼の言葉を述べられていました。

祭壇には多くの方々が白菊を献花し、戦没者に手を合わせました。



～招魂祭での音楽行進と演奏会のようす～



♪ 素敵なメロディーが街と心に響きわたりました♪